

平成28年度第6回東大和市公民館運営審議会会議録

日 時 平成28年11月17日（木） 午後2時～4時

場 所 中央公民館・視聴覚室

出席者 （委員）9人

（職員）尾又中央公民館長、平野中央公民館事業係長、佐野狭山公民館長、岩田蔵敷公民館長、蓑田上北台公民館長、内藤主事（記録）

欠 席 2人

・【内容】

・審議事項

・①公民館運営審議会委員研修会について

委 員：それでは、ただ今から第6回東大和市立公民館運営審議会を開催いたします。審議事項①公民館運営審議会委員研修会について、を議題といたします。尾又中央公民館長お願いいたします。

尾又館長：公民館運営審議会委員研修会についてご説明させていただきます。前回の公運審の中で色々な方のお名前が挙がりましたが、公民館のことを研究されている方で、最近、他市の公民館でも講師として呼ばれている人を探させていただきました。その中で適切な教授の方がいらっしゃいまして、そちらの方について調べさせていただきました。今回は牧野篤教授にお願いすることを考えております。タイトルとして公民館の役割について全体的なことをお話いただける先生ということで、皆様からご要望いただいております。牧野篤先生は東京大学の大学院の教授で、各地でもご講演なさっていらして、公民館の役割についてご講演されているということです。最近の経歴などを見ますと、全国公民館研究集会の講演をされていたり、富良野市で講演されていたり、内容も「公民館の本質と役割 ～地域再生・未来への挑戦～」ですとか、まちづくり講演会「つながりが作る新しい「社会」 ～少子高齢・人口減少社会における住民によるコミュニティ経営と行政の役割～」皆様のお求めになっている内容と近いのかなというところで、こちらの先生に連絡を取らせていただきました。3つの日程の中で、「2月2日の午後なら大丈夫であるということです。」とお返事いただきました。場所なのですが、ホールで講演会形式でやることも考えたのですが、その時期は既にホールは市の事業で埋まっております、取れるお部屋としては視聴覚室になりました。ただ、

公運審の皆のお話の中で、一般の利用者の方、市民の方も呼びたいとのことでしたので、入れる人数としては50名程だと思います。机なしで、椅子のみで並べれば入れるかなと思います。この内容で牧野先生にはご了解いただけました。牧野先生におかれましては、文部科学省補助金「学びを通じた地方創生コンファレンス ～学びが拓く持続可能な社会～」というような内容で講演予定でして、東京の公民館の職員と繋がりを持ちたいということで、もう既に東京大学だけではなく、立教大学の先生や、特別区社会教育主事会とも連携して事業を行っていくということで、東大和にも是非来たいと言っておりました。内容としては、公民館の本質と役割についてお話しいただきたいところだと思いますが、利用者の方、市民の方にもご参加いただきたいと思っております。内容やタイトルのことにつきましては、公運審の皆様からご意見を伺いまして、また公共施設総合管理計画についても、全国の状況や考え方について説明が欲しいということです。牧野先生にご依頼していきたいと思っております。講演会の案につきましては、以上でございます。

委員：説明は以上ですが、質問と意見を合わせまして、牧野先生でどうかということと、内容やタイトルについて何かあれば。また、今回は私たち審議会委員・職員のみではなくて、利用者連絡会などの一般の方もどうか、という方向で話がっていました。場所については、視聴覚室ということで、椅子のみで8席×6列で48席ということですね。牧野先生については、5～7に書いてあります。それでは、皆さんの方から何か質問や意見等ございますか。

委員：したがって、今日決めることはテーマを決めるということでしょうか。

委員：そうですね、今はまだ仮称なので今日決めます。私の方から、皆さんに質問させていただきますが、まちづくり、つながり作り、を見たときどのような印象を持たれましたか？

委員：まさしくそこをどう言おうかと思っていて、ちょっと違和感がありました。では、どうするかとなったときいい案が思いつかなかったのです。しばらく考えようと思っていたのです。ですが、やはり「作り」は同じ「づくり」の方がいいと思います。でも全部ひらがなになってしまいます。そこで考えたのは「つながり」を漢字にして「繋がり」とするのはいかがでしょうか。難しい漢字になってしまいますが、どこか漢字を入れないと変な気がします。

- 委員：牧野先生の富良野市の講演会では「つながりが作る」となっていますよね。牧野先生が意図して作ったのか、お願いしたところがあったのか、わかりませんが、私はこれで良いような気がします。一般人向けにチラシをつくるので、気持ちを掴むような良いアイデアをお願いします。
- 委員：基本的にはこれでいいかと思います。富良野の資料を読んで、市民と行政が支え合って、まちづくりをするというような内容でわかりやすくして良い講演だと思いました。私はこの案の内容でいいかと思います。
- 委員：他にありますか。
- 委員：タイトルですが、全部ひらがなになってしまうと読みづらいので、まちづくりとつながりをそれぞれ括弧で囲んで「まちづくり」は「つながり」づくりとするのはどうでしょうか。括弧で強調することで、ひらがなでずらずらと並べるよりはわかりやすいかと思います。それと、このタイトルだと対象の③一般市民の方達がどのくらい行ってみたいと思うか心配なので、一例ですが、富良野のときのサブタイトルをもらって「～少子高齢・人口減少社会における公民館の役割～」とかつけると、これからの公民館の位置づけを考えたいなどと思うような方が来ていただけるかと思います。
- 委員：尾又館長、7番の隠しテーマとはどのようなことですか。
- 尾又館長：内容として「公民館の本質と役割」をご希望いただいておりましたが、これを表に出してしまうと、一般の利用の方にはとっつきにくいと思ひまして、隠しテーマと致しました。
- 委員：内輪の意識ということですね。他はどうでしょう。
- 委員：こういうものはですね、いくつか案を出してその中で選んだ方がいいかと思います。「つくり」を「創り」にして、「つながり創り」を括弧で囲むのはどうでしょうか。新しいつながりという意味合いを込めて。
- 委員：どっちが主かというのと、つながりづくりのように取ったのですね。住民同士のつながりが大事だと読み取ったのです。そうする、つながりを作るというのが最初に来たほうが、牧野先生の気持ちに合うかなと思います。なので、つながりがつくる「まち創り」とするのはどうでしょうか。サブタイトルをつければわかりやすいかと思います。
- 委員：まちづくりなのですが、私どもが使っているまちづくりは、いつもひらがなですが、一般の市民の方はどう捉えるのが気になります。
- 委員：ひらがなにする利点は、いっぱい想像が膨らみますよね。受けてが自由に考えられるようになりますからね。今、議論の内容が、講演会

のタイトルのことですが、他にこの講演会の内容等に異議はないでしょうか。

全 委 員：異議なし。

委 員：では、講演会のタイトルとサブタイトルについて議論を進めていきます。書き並べたものを見比べて、皆さんどれが良いかありますか。

委 員：まちの漢字はいくつかありますが、街路の「街」はハード面のほうで使っています。各地区に公民館はありますので、町長の「町」のほうがいい気がします。

委 員：他はどうですか。

委 員：委員が言われたものが良いと思います。まちの漢字はどちらも異論ありませんよ。

委 員：その他はどうですか。

委 員：全部ひらがなだと読みづらいと思いましたが、括弧をつけることによって、読み易くて良いかなと思いました。

委 員：私は「つながり」がつくる「まちづくり」が良いと思います。副題はとても良いかと思います。

委 員：私は、一番上のもの（「まちづくり」は「つながりづくり」から）でいいかと思います。チラシを作るときには、ひらがなのところのフォントを変えて分かり易いようにすれば良いのではないのでしょうか。

委 員：私も一番ぱっと見の印象が強いのが一番上のものだと思います。「まちづくり」は「つながり」からというのは印象的です。

委 員：「つながり」からというのはありませんね。シンプルで良いかと思います。

委 員：では、「まちづくり」は「つながり」からというのでどうでしょうか。

全 委 員：異議なし。

委 員：副題についても「少子高齢・人口減少社会における公民館の役割」でよろしいでしょうか。

全 委 員：異議なし。

委 員：まちの漢字についてもなにかありますか。

委 員：副題が長いので、役割っていうのはわかるので、公民館で切ってしまうとよいのではないのでしょうか。

委 員：そうですね。では、「少子高齢・人口減少における公民館」に致しましょう。

全 委 員：異議なし。

委 員：開会の言葉があつて、趣旨説明などされますか？

尾又館長：会長お願い致します。

委員：講師紹介などもしましょうか。そして講演は何分ぐらいですか。

尾又館長：90分ですかね。

委員：質疑が20分ぐらいで、閉会の言葉ですかね。また詳しいことは事務局で決めましょう。ありがとうございました。

・審議事項②50周年事業について

委員：では、尾又館長説明お願い致します。

尾又館長：東大和市の小・中学校の最近の記念誌の費用を調べたところ、330円～600円ぐらいの単価で800部ぐらい作っていることがわかりました。国立の公民館のPR動画はどこかに委託したのかと思っていましたが、市民の方々に制作したそうで、2万5千円を9名各個人にお支払したそうです、ご参考になさってください。

委員：最近印刷業者に発注することが多いのかなと思います。表紙の体裁によっても違いますし、写真が多いといい紙を使わなければなりませんね。いっても600円ぐらいですが。30、40周年はできるだけお金を掛けないようにしていました。50周年の事業を100万以上でするとなると、そろそろ起案しなければならないのですが、皆様の中で膨らませたイメージなどございますか。

委員：記念誌は、市内印刷するのは難しいのでしょうか？

蓑田館長：カラー印刷はできません。予算書や決算書みたいな白黒ものはできますが。

尾又館長：小平市などはこうみんかんだよりも市内印刷できますが。東大和市はそこまではできません。

委員：それから、国立の公民館のPR動画を事前にご覧いただけましたか。PR動画も作るとなるとそれなりの予算が必要ですね。

委員：最初の考えだと、とりあえず100万以上を提示しといて、だめだったらその範囲以内で収めようと考えていたのですが、提示する場合それなりの裏付けがないとだめなのですよね。そこに手間をかけなくても、100万以内で中身を充実させることに力を入れるべきだという印象を持ちました。

委員：28年度の3月までに決めなければならないのですね。100万円をどう使うか。残ったものをどう使うかということとはできないのですか。

委員：残ったら何に使うかということとはできなくて、見積もりを出してみたら100万以上必要だとなったということです。

委員：そのためには公運審だけではできなくて、もっとしっかり実行委員会

を作ってやりたいなと思うのですが。せつかく100万円もらえるチャンスがあるので、もっとしっかり50周年事業を考えたいと思います。

委員：100万円もらうわけではありません。以上ならそれなりの期間が必要であるということです。

委員：どこかが100万円以上の事業をやるぞ、というように決まらないと向かえないわけですね。

委員：そのどこかが、というのがこの公運審なのです。

委員：なるほど。わかりました。

尾又館長：実施計画に乗せるもののラインが100万であって、100万もらえるわけではありません。また、最近で実施計画に載ったものは施設の耐震行事ぐらいしかなくて、それも支える柱が立ったぐらいで、外壁の工事までは行かなかったのです。実施計画に載せるのがいかに大変であるかということを知っていただきたいのと、今年度中に結論を出していただきたいと思います。1月は研修会なので、あとは2月の定例会になりますね。

委員：実はお金の絡むものですので、難しい面があります。記念誌と何かあったら、協力者を募るとか、工夫する時間が取れますよね。

委員：40周年事業のときも100万円以下でこの記念誌のように立派なものができるので、今回も100万以下で計画を立てれば良いかと思えます。

委員：ありがとうございます。他にありますか。

委員：国立のPR動画を見てみましたが、プロボノって言って、普通の市民ではなくて専門の人で、ただではないかもしれませんが、協力してもらったのではないのでしょうか。少し時間もあるので、人のつながりから探して、100万以下でも良いものができるようにしたいと思えます。

委員：50周年を迎えるまで公民館で何をしていけるかを考えるのも、周年行事を迎えるまでの大事な取り組みだと思います。周年行事は発表のイベントですから、イベントを迎えるまでに、今日から何ができるのか、イベントの後どうしていくのかを考えるのが大切だと思います。つながりを活かした公民館にするならば、私たち公運審も市民の方とつながりを持ちながら周年行事を迎えて、100万にこだわらずに、より良い公民館を作り続ける方がよろしいのかなと思います。実施計画に載せないということで、よろしいでしょうか。皆さんどうですか。

全 委員：異議なし。